



ならこくニュースレター

令和5年11月8日 Vol.9



奈良国立大学機構と両大学の取り組みについて、
今回は、主に、10月の動きを中心にお伝えします。

————▼お知らせの種類▼————

- A. 両大学共通イベント B. 奈良教育大学の取組
- C. 奈良女子大学の取組 D. 法人運営に関すること
- E. 榎本事務局長から

//////////▼注目 Topics▼//////////

- 【A-1】奈良カレッジズ学問祭・教養科目「諸学への誘い」の一環として、「レポート合評セッション」を開催（9/26）
- 【B-1】学生がアクサユネスコ協会減災教育プログラムに参加（9/20～23）
- 【C-3】山下奈良県知事特別講演「人生は選択の連続。悔いなく生き抜くための正しい判断力を身につけよう！」（10/13）



A. 両大学共通イベント

- 【A-1】奈良カレッジズ学問祭・教養科目「諸学への誘い」の一環として、「レポート合評セッション」を開催（9/26）

<https://www.nara-ni.ac.jp/news/2023/231010.html>

- 【A-2】リカレントトライアル講義 第1回目「私の新しい価値の創造への挑戦」を実施（10/4）

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/recurrent/news/2023/20231004/20231004.html

- 【A-3】リカレントトライアル講義 第2回目「デザイン思考の勧め～生活者視点・ユーザー視点での製品と生活の提案～」を実施（10/13）

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/recurrent/news/2023/20231013/20231013.html

- 【A-4】リカレントトライアル講義 第3回目「サントリーのDXへの取り組み～変革人材を育むために～」を実施（10/19）

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/recurrent/news/2023/20231019/20231019.html

【A-5】異分野交流プロジェクト NU cross による「第 2 回研究交流会」を開催
(10/17)

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/news/2023/20231017/20231017.html

<開催案内>

○【企業経営者、金融関係職員、自治体職員、中小企業支援団体職員対象】「なら産地学官リカレント教育事業トライアル講義」を開講（10/4～11/30）

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/recurrent/trial.html

- ・「自然災害と防災・減災～奈良と近畿圏について考える～」(11/8)
- ・「心のしくみ～共働・共創のために～」(11/14)
- ・「生成AIなどITをどうビジネスや企業経営に活用するか」(11/17)
- ・「中小企業のDX戦略」(11/21)
- ・「食べものから考える奈良の地域課題」(11/30)

○アドバイザーボードによる講演等の予定

[https://naraportal.nara-](https://naraportal.nara-wu.ac.jp/portal/index.html?bbs_id=3653&direct=1&module=office&controller=bbs&exec=detail)

[wu.ac.jp/portal/index.html?bbs_id=3653&direct=1&module=office&controller=bbs&exec=detail](https://naraportal.nara-wu.ac.jp/portal/index.html?bbs_id=3653&direct=1&module=office&controller=bbs&exec=detail)（学内専用）

・中川政七氏（中川政七商店代表取締役会長）による講演と公開対話「自分の道を、自分で決める。」(11/14)

[https://www.nara-](https://www.nara-ni.ac.jp/about/data/advisory_board/seminar_Nakagawa.pdf)

[ni.ac.jp/about/data/advisory_board/seminar_Nakagawa.pdf](https://www.nara-ni.ac.jp/about/data/advisory_board/seminar_Nakagawa.pdf)

・川人光男氏（脳情報通信総合研究所所長、株式会社 XNef 代表取締役社長）によるクロストーク「メンタルヘルスと脳科学」(11/29)

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/pdf/20231031_2.pdf

・ジュリア・カセム氏（ロンドン芸術大学 客員教授）による講演「インクルーシブ・コミュニケーション・デザイン：隅々まで行き届く」(12/5)

○森勇介氏（大阪大学大学院工学研究科電気電子情報通信工学専攻教授）による基調講演「～産業の川上「結晶」が拓くイノベーションとベンチャー起業～」、特別講演「～工学部・工学研究科で女子学生の研究指導に携わって感じたこと～」・「～私たちはどう学び、どう行うか～」

場所：奈良カレッジズ交流テラス

日時：11月24日（金）13:00～17:00

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/news/2023/20231124.pdf

【B-1】 学生がアクサユネスコ協会減災教育プログラムに参加（9/20～23）

https://www.nara-edu.ac.jp/ESDC/esd_sdgs/axaunesco.html

【B-2】 広報誌「ならやま」2023年秋号を発行（9/29）

<https://www.nara-edu.ac.jp/guide/pr/narayama/index.html>

【B-3】 奈良県次世代教員養成塾第6期の開講式及び第1回講座を実施（10/7）

https://www.nara-edu.ac.jp/news/2023/10/6_1.html

【B-4】 国際交流イベント「稲刈り・さつまいも掘り体験」を開催（10/11）

https://www.nara-edu.ac.jp/CIES/activities/2023/10/2023_10_11.html

【B-5】 本学仮名書道研究室が、奈良市杉岡華邨書道美術館にて、子ども向けワークショップを開催（10/14）

<https://www.nara-edu.ac.jp/news/2023/10/kana1014.html>

<開催案内>

○ホームカミングデー2023の開催（11/19）

https://www.nara-edu.ac.jp/event/university/entry_19.html

○美術科教育宇田研究室主催 第23回造形ひろば～申込受付中～（11/19）

<https://www.nara-edu.ac.jp/event/other/23.html>

○ダイバーシティ推進とユニバーサルデザイン講演会の開催（12/13）

<https://www.nara-edu.ac.jp/event/universaldesign2023.pdf>

C. 奈良女子大学の取組

【C-1】 文化庁「大学における文化芸術推進事業」中間報告会に参加（10/11）

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20231012_1.html

【C-2】 奈良県桜井市纏向遺跡から発見された世界最古となるチャバネゴキブリの破片について（10/12）

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20231012.html>

【C-3】 山下奈良県知事特別講演「人生は選択の連続。悔いなく生き抜くための正しい判断力を身につけよう！」を開催（10/13）

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20231016_4.html

【C-4】 「大学における文化芸術推進事業」公開講座・ワークショップを開催

(10/15)

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20231019.html>

【C-5】「第11回キャリアトークカフェ NHK 奈良放送局 見学・懇談会」を開催しました (10/16)

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20231027_1.html

【C-6】ダイバーシティ推進センター主催「奈良女子大学の現状とこれからの考える研修会」(全15回)

- ・第6回 機構情報課 岡田高志課長 (9/29)
「学術情報基盤について コンピュータ及びネットワーク編」
- ・第7回 財務課 幸田好史課長 (10/4)
「奈良女子大学の収支予算について」
- ・第8回 施設課 奥和久課長 (10/6)
「奈良女子大学の施設の現状について」
- ・第9回 国際課 濱田憲人課長 (10/11)
「奈良女子大学の国際交流を進めていく上での現状・課題等について」
- ・第10回 研究協力課 植田康敏課長 (10/13)
「大学の将来を見据えた課・室の課題、展望、教員との連携について～研究協力課編～」
- ・第11回 入試課 早川昭仁課長 (10/18)
「奈良女子大学入試課について」
- ・第12回 学務課 米谷圭三課長 (10/20)
「学務課より話題提供」
- ・第13回 学生生活課 桑原みどり課長 (10/25)
「学生生活を充実させるために」

【C-7】「大学における文化芸術推進事業」ワークショップを開催しました (10/28)

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20231030_1.html

【C-8】古代の甘味料「甘葛煎(あまづらせん)」の味わいを元に開発した「甘葛(あまづら)シロップ」の発売を開始します。

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20231027.html>

<開催案内>

○碓井ゆい作品展「手のひらの針」

場所：奈良女子大学記念館

日時：令和5年11月10日(金)～11月17日(金)

平日：12:00～17:00 日曜：12:00～17:00

土曜：休館

問い合わせ：共生科学研究センター

<https://nwugender.wordpress.com/2023/09/28/%e3%80%90%e4%b8%bb%e5%82%ac%e3%80%91%e5%b1%95%e7%a4%ba%e4%bc%9a/>

○「生活情報通信科学コース主催 高専生のためのオープンラボ 2023」

日時：11月3日（金・祝）・11月23日（木・祝）

<https://www.ics.nara-wu.ac.jp/~tm/openlab2023/>

○大学院ドクターコース進学説明会

Zoomにて開催（後日オンデマンド配信）

日時：令和5年11月17日（金）16:20～17:50

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/pdf/20231031_1.pdf

○「平城宮跡アオハルプロジェクト」の一環として『おぎの美術館』が期間限定で開催

場所：平城宮跡内

日時：令和5年10月18日（水）～12月3日（日）

※11月13日（月）は休館

<https://www.heijo-park.jp/news/oginobijutukan2023/>

○“知る・学ぶ・伝える equality” 連続講座

第1回「『輝く』って何だろう 女性のライフステージと選択」

場所：コラボレーションセンター 3階 Z306（先着50名）

オンライン（Zoom）・後日オンデマンド配信有り

日時：令和5年12月4日（月）13:30～15:00

※参加費無料、事前申込要

※参加申込締切：11月27日（月）

※無料託児あり（要申込。生後3か月～小学校6年生のお子様対象。）

託児ご利用の方は、メールにて令和5年11月22日（水）まで

<https://gepo.nara-wu.ac.jp/lecture-meeting/equality/>

D. 法人運営に関すること

今回は、お知らせすることはありません。

□
| \ / |
□

E. 榎本事務局長から

「高等教育の規模に関する諮問について」

今年9月25日、文科省は、中教審（中央教育審議会）に「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について（諮問）」を出しました。

【1. 中教審の諮問】

中教審の資料は以下に掲載されています。

https://www.mext.go.jp/kaigisiryo/mext_00588.html

https://www.mext.go.jp/b_menu/activity/detail/2023/20230925.html

「諮問」とは、政府が審議会に意見を求めることであり、審議会は、一定期間の議論を経て、結論を「答申」として政府に提出することになります。

審議会への諮問は、政府として、この問題を重要テーマとして解決すべきとの意思表示です。中教審の大学分科会は「高等教育の在り方に関する特別部会」を設置することにしており、今後、その特別部会が中心の場となって、高等教育の規模に関する議論が本格化すると想定されます。

【2. 諮問の背景】

大学進学者数は、2022年には64万人でしたが、少子化が進めば、2040年は51万人となり、その後、2050年までの10年間は50万人前後で推移すると推計されます。そこで、中教審では、2040年以降の社会を見据えて、将来の高等教育（＝大学（学部・大学院）、短大、高専、専門学校）の審議をすることになったものです。なお、2040年までの在り方は、中教審の「グランドデザイン答申」（2018年）で示されたことになっており、今回は、それ以降のことを念頭に置くようです。

【3. 諮問の概略】

諮問の本文では、検討すべき課題として4項目が挙がっています。

- (1) 2040年以降の社会を見据えた高等教育が目指すべき姿
- (2) 今後の高等教育全体の適正な規模を視野に入れた、地域における質の高い高等教育へのアクセス確保の在り方
- (3) 国公私の設置者別等の役割分担の在り方
- (4) 高等教育の改革を支える支援方策の在り方

この内容のうち、(1)はイントロであり、(2)と(3)が中核的なテーマです。(2)から、キーワードを拾うと「設置者の枠を越えた、高等教育機関間の連携、再編・統合の議論は避けることができない状況」とした上で、「今後の高等教育のアクセス確保」を掲げつつ、「既存の学部・学科等の構成や教育課程の見直しなどの教育研究の充実」「高等教育機関間の連携の強化」「再編・統合等を促進」「抜本的な構造改革」を検討課題に挙げています。

(3)では、国立大学について「世界最高水準の教育研究の先導、知の多様性・イノベーションの源泉となる学問分野の継承・発展、全国的な高等教育の機会均等の確保等や、全国の知的インフラのネットワーク集積機能を活かした貢献

が期待」としています。その上で、「国公立の設置者別や機関別等の役割分担の在り方や果たすべき役割・機能等」を検討課題に挙げています。

(4)の「支援方策」は、諮問の末尾の常套句です。

【4. 榎本の私見】

以下の3点を挙げておきます。

○ 全国の18歳人口は、2023年は109万人であり、10年前(2013年)の123万人から1割強も減っています。今後の18歳人口は、しばらく横ばい又は微減の状態が続きますが、2030年前後から、再び減少していきます。両大学では、今後、18歳人口が減少していく現実を見据えた上で、それぞれの学内の議論、そして両大学を横断した議論を通じて、教育研究に関する将来構想を持っていくべきです。両大学には、奈良県だけでなく、他府県から多くの学生が進学し、きめ細かい教育など、多くの特長を持っており、持続的発展に向けて建設的な議論をつくっていく必要があります。

○ 文科省は、今後、社会人学生の受入や留学生受入が増えることで、18歳人口の減少分をある程度カバーすることも想定しています。奈良国立大学機構では、本年度から、リカレント教育の充実に着手し、また、「国際戦略センター」も発足しましたから、これを契機として、より多様な学生の受入に取り組むべきと考えます。社会人学生や留学生だけで、18歳人口の減少全体を埋めるということではないかもしれませんが、多様な教育研究機関として発展していく上で大事なテーマです。

○ 今回の諮問では、諮問内容の(4)で、「各機関内における適切な資源配分や効率化を前提」と「十分な人件費や研究費の確保が困難となり、教育研究活動に大きな影響を与えかねない問題」との言及があり、大学財政に関しては、事実上の両論併記になっています。国立大学は、人材の輩出・学術研究への貢献・地域社会との連携、といった本来的使命を果たしていること、そして、そうした使命を担保できる安定的な財政措置が必要であることを、国や社会に強く発信していく必要があります。また、諮問の文章では、近年の大学を取り巻く環境に関し、コロナ禍を契機とした遠隔教育の普及、国際情勢の不安定化、研究力低下などが挙げられています。「研究力低下」を人ごとのように言っている国の姿勢には強い違和感を覚えます。大学から、国や社会に対する発信が重要であることを改めて感じます。

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲

バックナンバーは以下よりご覧いただけます。

<http://www.nara-ni.ac.jp/news/narakoku/index.html>

また、学内掲示板以外のメールでの配信をさせていただいている方で、配信停止をご希望の方は、お手数ですが、

somu02@jimu.nara-wu.ac.jp まで、その旨お知らせください。

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲